## 仮想型端末(Ubuntu)の基本的な操作方法

第3版

# 目次

1		グインとログアウト			
	1.1	ログイン2			
	1.2	ログアウト			
2	Те	rminal の操作4			
	2.1	Terminal の起動4			
	2.2	Terminal でよく使う基本コマンド5			
3	日:	<b>本語入力</b> 6			
4	7	ァイルアクセスとディレクトリ構造7			
	4.1	ホームディレクトリ7			
	4.2	Files を使用したアクセス7			
	4.3	Terminal を使用したアクセス7			
5 アプリケーションの起動					
	5.1	Web ブラウザの起動8			
	5.2	その他アプリケーションの起動9			
6	文	<b>字列のコピー</b> 10			
	6.1	【 仮想型端末 】固定型端末へ文字列をコピーする			
	6.2	【 固定型端末 】仮想型端末へ文字列をコピーする11			
7	フ	ァイルをやり取りする(クラウドストレージサービスの利用)13			
	7.1	ファイルのアップロード13			
	7.2	自宅などのコンピュータからファイルをやり取りする場合13			
8	その	<b>の他</b> 14			

## 1 ログインとログアウト

1.1 ログイン

ログイン画面で [password]欄にパスワードを入力します。(図 1)

Login to VDI-M6JB8G-0009								
Session	Xorg			•				
username								
password	<b>I</b>							
	C	ж	Cance	ıl				

図 1:ログイン画面

正しくログインできると Ubuntu ワークスペース切替画面(図2)が表示され、1つのワークスペースをクリックするとデスクトップ画面が表示されます。



図2: Ubuntu ワークスペース切替(Activities)画面

- 1.2 ログアウト
  - ① 画面右上の電源アイコンをクリックします。(図3)
  - ② [Power Off / Log Out]  $\overline{v}$   $\overline{v}$



🖾 3 :Log Out

③ 確認画面が表示されますので「Log Out」をクリックします。(図4)



図4:Log Out 確認画面

## 2 Terminal の操作

#### 2.1 Terminal の起動

Terminal を起動するには画面左上にある「Activities」(図5)をクリックし、現れた横並びのアイコンから「Terminal」をクリックします。(図6)



(図5:Activities メニュー)



(図6:Activities 画面)

2.2 Terminal でよく使う基本コマンド

Terminal ではさまざまなコマンドが用意されていますが、その中でも頻繁に使うコ マンドは覚えておくと便利です。(表1)

X +							
動作	コマンド	使用例					
ディレクトリの移動	cd	cd /home					
ディレクトリの情報	ls	ls –la /home					
現在の作業ディレクトリ	pwd	pwd					
の場所を表示							
コピー	ср	cp –p hoge.txt hoge_old.txt					
ディレクトリの作成	mkdir	mkdir AAA					
空ファイルの作成	touch	touch hoge.txt					
ファイルまたはディレク	mv	mv hoge.txt ./AAA/.					
トリの移動							
ファイル名またはディレ	mv	mv hoge.txt hoge2.txt					
クトリ名の変更							
ファイルの中の文字列を	grep	grep "hoge" /home/AAA/*.txt					
検索							
マニュアル	man [コマンド]	man grep					

表 1

これ以外にも様々なコマンドとそれぞれにオプションが用意されています。詳しく は Linux のコマンドリファレンスなどを参照ください。

### 3 日本語入力

入力する文字を切り替えるには、

- ① 画面右上にある入力モード切り替えアイコンをクリックします。(図7-①)
- ② 「日本語(Mozc JP)」を選択します。(図7-②)
- ③ 入力モード(A)をドロップダウンして「ひらがな」を選択します。(図7-③)

または、図7-①の画面上部に横並び表示された操作ボタンから、表示切り替えボ タン(斜め矢印)をクリックして、全画面表示で VDI を利用していただくと、以下 のショートカットキーを使用した文字の切り替え操作も可能になります。

Windows では "windows"キー + "shift"キー +スペースキーを押す

#### macOS では "command"キー + "shift"キー +スペースキーを押す

"日本語" ⇔ "英語" の切り替えは入力モードを日本語(Mozc - JP) に選択するか、 ご使用のキーボードに応じて Japanese もしくは English(US) に切替えていただき、 または上記①~③の入力モード切り替え操作(画面クリック) で行います。



#### (図7:文字入力切り替え)

#### 【こんな時は…】

日本語に切り替えられない場合は以下のようになっているかを確認します。

画面右上の言語マークをクリック - 「日本語 (Mozc - JP)」- 入力モード (A) から 「ひらがな」が選択されていること

## 4 ファイルアクセスとディレクトリ構造

4.1 ホームディレクトリ利用者のホームディレクトリは以下の通りです。

```
/home/[ユーザーアカウント名]/
```

- 4.2 Files を使用したアクセス
  - ホームディレクトリにアクセスするには、画面左上にある「Activities」(図5)を クリックし、横並びのアイコンから「Files」アイコン(図8)をクリックします。



(図8:Files アイコン)

4.3 Terminal を使用したアクセス

Terminal を使用してホームディレクトリに移動するには、Terminal を起動し(項番 2.1 参照)以下のコマンドを実行します。

cd /home/[ユーザーアカウント名]

ファイルを保存する際はこのディレクトリ配下に必ず保存するようにしてください。 【注意】

ホームディレクトリ以外の場所にはデータが保存できなかったり、端末をシャット ダウンすると作成したデータが消えてしまいますのでご注意ください。

## 5 アプリケーションの起動

5.1 Web ブラウザの起動

Web ブラウザを起動するには画面左上にある「Activities」(図5)をクリックし、 横並びのアイコンから「Firefox」または「Google Chrome」(図9)をクリックしま す。



(図9:Web ブラウザのアイコン)

5.2 その他アプリケーションの起動

その他のアプリケーションを起動するには画面左上にある「Activities」(図5)をクリックし、横並びのアイコンから「Show Applications」アイコン (図10-①)を クリックします。

現れたアイコン群の中から利用したいアイコンをクリックするとアプリケーション が起動します。

マウスホイールを回すか、画面下側の・印(図10-2)をクリックすることで、 1ページに収まっていないアプリケーションを表示することが可能です。



(図10:アプリケーションメニューアイコン)

## 6 文字列のコピー

- 6.1 【仮想型端末】固定型端末へ文字列をコピーする
   仮想型端末上でコピーした文字列(テキスト情報)を固定型端末上に貼り付ける場合、以下のように行います。
  - ① 仮想型端末上で任意の文字列を選択し、[Ctrl]キー + [C]キーを押します。
     (図11)

ē	教育用PC端末(固定・仮想× +				~	
$\leftrightarrow \rightarrow 0$		/w.iimc. <b>kyoto-u.ac.jp</b> /ja/services	/education/ecs/	*		ĵ) :
- ヨブックマ	ークをインボ					
	意 京都大学情報環境機構		情報環境機構について	<u>アクセス</u> 局部 印刷する ・ En	Iglish	
	Institute for Information Management and Communit	ation, Kyoto University	Q <sub>google</sub> 検索	検索 文字サイズ 振業	拡大	
	★-ム	🛄 提供サービス	?よくある質問	🔤 お問い合わせ		
	教育·学習	ホーム > 提供サービス > 教育・学習	> 教育用PC端末(固定、仮想)			
	■ サービス全般のご案内	教育用PC端末(固定・仮:	想)			
	1 学習支援システム(PandA)	対象者:学生 教員 職員				
	教育用PC端末(固定・仮想)	本学の学生・教職員が授業や自当	E学習のために利用できる教育用PC端オ	そを提供しています。		
	<ul> <li>教育用PC端末(固定・仮想)に ついて</li> </ul>	<ul> <li></li></ul>	部のサテライト教室、学術情報メディフ 館・吉田南総合図書館ラーニングコモン するノートパソコン等の BYOD (Bring )	<sup>*</sup> センター南館演習室(203・204・ *ズに設置された固定型 PC 端末 four Own Device) 端末から利用す	10	
	マニュアル・ガイドブック	ことができる仮想型端末 (Windo	ows 11 または Linux) を提供しています	r.		
	<ul> <li>利用規程・利用心得</li> </ul>	授業での各端末の利用にあたっ1	ては、科目担当教員の許可のもとでご使	用ください。		
	・ <u>リーフレット</u>	【サービスの特徴とメリッ	F.			
	▶ はじめにお読みください(PC	<ul> <li>授業に必要なソフトウェア</li> </ul>	を科目担当教員からの申請に応じて、	学期ごとに PC 端末サービスへ導入	.L.	

(図11:文字列のコピー)

② 固定型端末上の希望の場所で右クリックをし「貼り付け」をクリックします。
 (図12) または [Ctrl]キー + [V]キーを押すことでも可能です。



(図12:ローカル PC への文字列の貼り付け)

- 6.2 【 固定型端末 】 仮想型端末へ文字列をコピーする
   固定型端末上でコピーした文字列(テキスト情報)を仮想型端末上に貼り付ける場合、以下のように行います。
  - ① 固定型端末上で任意の文字列をコピーします。(図13)



(図13:ローカル PC上で文字列をコピー)

② 仮想型端末の画面上部に横並び表示された操作ボタンから「Menu Box」アイコン(三本線のアイコン)をクリックします。(図14)



(図14:Menu Box アイコン)

③ 開いたウィンドウのクリップボード欄に一旦貼り付けを行います。(図15)
 貼り付けは右クリックをし「貼り付け」をクリックします。
 または [Ctrl]キー + [V]キー を押すことでも可能です。



(図15:仮想型端末 クリップボードに貼り付け)

④ 「Menu Box」アイコンをクリックしてウィンドウを閉じ、仮想型端末上の任意の場所に貼り付けます。(図16)



(図16:仮想型端末上のアプリケーションへ貼り付け)

## 7 ファイルをやり取りする (クラウドストレージサービスの利用)

仮想型端末上で作成したデータを OSL やサテライト教室に設置の固定型端末や自 宅のコンピュータとやり取りする場合は Microsoft 社の OneDrive サービスを利用 します。必要なデータを所定の場所に保存することでファイルのやり取りが可能で す。

仮想型端末で OneDrive を使用する方法は、情報環境機構のホームページ上で案内 していますので、必ず下記 URL を参照してからご利用ください。

(よくある質問)仮想型端末の利用 OneDrive を利用したい https://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/faq/education/vdi/microsoft\_onedrive.html

7.1 ファイルのアップロード

ブラウザで OneDrive にファイルをアップロードする場合は、情報環境機構 Web サイトの下記 URL にあるリーフレットの2ページ目(【2】 ブラウザを用いて起動する場合)を参照して行ってください。

PC 端末サービスの利用方法 クラウドストレージ: https://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/services/education/ecs/files/03\_storage\_ja.pdf

#### 【補足】

ファイルをアップロードすることで OneDrive サービスへデータが保存されます。

7.2 自宅などのコンピュータからファイルをやり取りする場合
 自宅など学外のコンピュータからは、Web ブラウザから以下の URL にアクセスし

てサインインすることで、保存したデータにアクセスすることが可能です。

#### URL: https://onedrive.live.com/about/ja-jp/signin/

#### 【参考】

OSL やサテライト教室に設置の固定型端末(Windows 11) または仮想型端末 (Windows 11) からは、Microsoft 社の OneDrive アプリを使用して保存したデータ ヘアクセスすることが可能です。

### 8 その他

しばらく何も操作をしないとスクリーンセーバーがかかります。(図20) 復帰するにはマウスを下から上にスワイプ(マウスをクリックし、そのまま上に動 かす動作)するかマウスのホイールを手前に回す、または [Enter]キーを押して ください。



(図20:スクリーンセーバー画面)

その後、パスワードを入力し [Enter] キーを押します。(図21)

(図21:スクリーンセーバーからの復帰)